

Future

進行中のプロジェクト~1年生迎える会~

20日で準備をするハードな1年生を迎える会プロジェクトも、決めることから役割分担を終え、グループに分かれて本格的に準備がスタートしました。学校行事を自分たちが作ることでできるワクワク感を感じつつも、決めないといけないことの多さ、想像しにくい1年生の力量（体力や理解度）を考えながら、どうやったら1年生にSOLANの楽しさを感じてもらえるか、SOLANのことをよくわかってもらえるか必死になって考えています。また昨年度末に作り上げた愛唱歌の披露も控え、音楽の授業で練習しています。プロジェクトで何かを作り上げたり、学習発表会や探究の発表で緊張しながらも思いを伝えることの経験を重ねたりしながら成長し、達成感を味わってきたからこそ今の子どもたちがあります。4/28（木）にその達成感を味わえるよう、一丸となって準備を進めてまいります。

モジュールの漢字・計算、家庭学習

4/6（水）の1時間目から本日まで、1時間目の最初は毎日「漢字・計算」の授業から始まり、漢字ドリルを使った新出漢字の学習と、百ます計算を行なってきました。新出漢字は練習後、毎日その漢字の小テスト、そして1週間で習った漢字のまとめテストを週に1回行なっています。習慣スケジュールでもお伝えしたように、漢字ドリルは学年共有のGoogleドライブに保存しているため、家庭でも漢字ノート等に練習することが可能です。週に1回の漢字テストの回はもちろん、それ以外にも自主的に漢字を家庭学習として練習し、朝提出してくる子はいます。主体的に頑張る姿勢は素晴らしいものです。

また百ます計算は、2分間で100問の計算を行なっています。たし算、ひき算、かけ算と段階があり、2日連続して2分間に100問解くことができれば、次の段階へと上がっていきます。こちら家庭学習の選択肢としてプリントを持ち帰ってもいいと先週伝えました。今後家庭でもやる子が出てくると思いますので、その際は2分間の計測等のサポートをお願いします。

家庭学習については、毎日必ず何かを行うように伝え、毎日「家庭学習記録シート」に学習した内容を記録し、ふりかえりを書いて提出してもらっています。中でも日記は、週末に必ず1回書くことを伝えています。中には週に数回、また毎日日記を書いている子もいます。文章量よりも、書く力をつけるための書く習慣を重要視していますので、ぜひ書いている日記をまたご覧いただければと思います。

そして編入生の刺激もあって、読書をしている子が増えています。読書は必ず「読書記録カード」に記録するよう伝えています。記録カードは教室内の棚、もしくはクラスのGoogleドライブ内にも保存しています。既に4年生になってから1000ページ以上読んでいる子もいます。先日の国語図書の授業で司書の吉賀先生から子どもたちに話があったように、読書は「語彙力・想像力・感情の豊かさ」を高めるために最適の方法です。それは探究の授業等で情報を読み取ったり、まとめたりする力が重要になってくることも考えると、重要なスキルになります。子どもたちにはたくさんの本に触れ、どんどんと成長していつてほしいと思います。

情報モラル～コミュニケーション～

4/14（木）の情報の授業では、対面とチャットなどのオンラインでのコミュニケーションについて考えました。文部科学省が作成している動画教材（教材⑬うまく伝わったかな？（導入編））を導入に、対面とオンラインのコミュニケーションの違いをベン図に表しました。初めに始め体験は、対面のメリットとオンラインやチャットのデメリットばかりが出た、綺麗事ばかりが並んだため、「じゃあなんでみんなはチャットを使っているの？バスの中とか、家に帰ってからもチャットを使っているのはなんで？」ともう少し踏み込んで質問し、話し合いを深めました。そうすると、「いつでもできる」「周りを気にせず会話できる」「個人とかグループとかどんな形でも会話できる」といったリアルな意見が出てきました。実際子どもたちのチャットでは、普段の会話以上に語気が強くなったり、悪気がないメッセージで友だちを傷つけたりといったことが起きているのも知っていたため、今回は時間をかけて話し合い、最後は「分かったこと」をテーマにふりかえりを書きました。次回はiPadの使用時間をテーマに話し合います。こういった授業を1回行っただけでは、子どもたちが考えるきっかけにはなりません、続けていきながら責任あるデジタル・シチズンシップの育成につなげていきたいと思います。

4/14 (木) 情報の授業での話し合ったベン図のまとめ



情報 - コミュニケーション -

4月 14日 (木)

4年生

評価 (S/A/B/C) ふりかえり:

- ・オンラインでかなしませたかもしれないことがあったので気をつけたい。
- ・オンラインは便利だけど、使い持ちを考えて使う。
- ・自分の気持ちを相手にかんちがいさせないようにする。
- ・チャットでは言葉づかいに気をつけることが大事。
- ・チャットではくわしく書いて、相手をきずつけないようにする。
- ・チャットでは表情が伝えにくいから送る時はしんちょうに。
- ・オンラインでは人の気持ちを考えながら送らないといけないことを注意する。
- ・送る前に送られたがわの気持ちを考える。
- ・自分でもいやだなと思うようなチャットが送られてきたので、自分ではそういうことを言わないようにしたい。
- ・前にチャットで悪気がないのにいやな気持ちにさせてしまったから、授業の内容が分かった。

対面

オンライン・チャット

視点		
伝わり方	伝えられやすい 目・声 表情がわかるから気持ちが見える 思い通りに伝わらなかったら説明できる	伝えにくい 気持ちが見えない まちがいで関係がこわれる 文字・スタンプ・言葉の意味
話しやすさ	言葉で伝えられるから話しやすい 直接だと言にくい	話せる いつでも、個人・グループ 周りを気にしない 対面だと伝えにくいことも伝えられる 文字を打つのに時間がかかる
表情	見えるからわかりやすい	伝わりにくい ほ足（スタンプ、説明）がひつよう